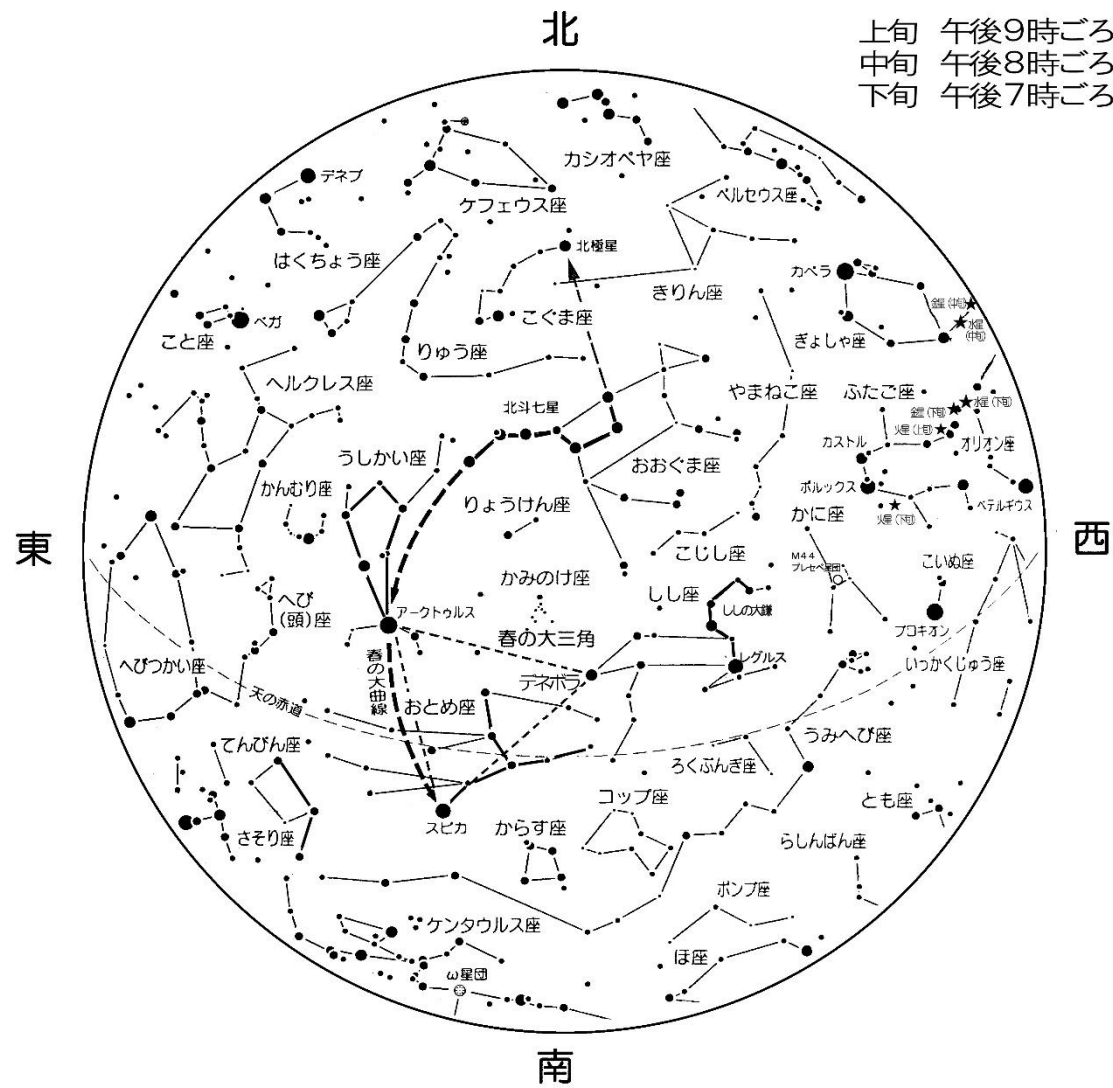


令和3年 5月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬 午後9時ごろ
中旬 午後8時ごろ
下旬 午後7時ごろ

今月の星空では、まず北の空の7つの星でつくる「スプーン」のような星の並び、「北斗七星」を見つけましょう。北斗七星は**おおぐま座**のしっぽの部分で輝いています。北斗七星を「スプーン」に見立てたとき、すくう部分の2つの星を結んで、その間隔の5つ分を北の方へのばしていくと見つかる星が**北極星**です。さらに、北斗七星の「スプーン」の持ち手のカーブに沿って南へのばしていくと、オレンジ色っぽく輝く1等星**アークトゥルス**、さらにのばしていくと白っぽく輝く1等星**スピカ**が見つかります。アークトゥルスから「ネクタイ」のように星を結ぶとうしかい座が、スピカから「アルファベットのyの字」のように星を結ぶとそのあたりには**おとめ座**があります。北斗七星からアークトゥルスを通してスピカまでのカーブを『春の大曲線』といいます。春の大曲線をさらに延ばしていくと、小さな四辺形の**からす座**も見つけることができます。アークトゥルスとスピカ、2等星の**デネボラ**を結んでできる三角形は『春の大三角』です。デネボラは「ししのしっぽ」という意味で、ここには**しし座**があります。しし座は、デネボラの西にある1等星**レグルス**から「?マーク」を裏返したような星の並び『ししの大鎌』を目印に見つけてもいいでしょう。

春の大曲線や春の大三角をたよりに、春の星空さんぽを楽しんではいかがでしょうか。

<見ごろの惑星> (☆マークは、今月のおすすめです。)

- ☆水星(0.7等前後):おうし座付近 日の入り後、西北西の低空で輝く。
- ☆金星(-3.9等前後):おひつじ→おうし座付近 日の入り後、西北西の低空でひととき明るく輝く。(中旬～下旬)
- ☆火星(1.7等前後):ふたご座付近 20時ごろ、西の空で赤っぽく輝く。
- ☆木星(-2.3等前後):みずがめ座付近 夜明け前、南東の空で明るく輝く。
- ☆土星(0.7等前後):やぎ座付近 夜明け前、南南東の空で輝く。

注目の天文現象 ～赤銅色に輝く月と、赤っぽく輝く星の共演を楽しもう～

今月26日、日本ではおよそ3年ぶりに皆既月食を見ることができます。月食は、太陽と地球、月が一直線に並び、地球がつくる影の中を月が通過することによっておこります。太陽の光がほぼ遮られた影の部分を本影といい、本影に月全体が入り込む現象を「皆既食」といいます。本影には、地球の大気によってわずかに屈折された波長の長い赤い光が入り込んでいるため、皆既食中の月は「赤銅(しゃくどう)色」と呼ばれる赤黒い色に見えます。

今回の皆既月食では20時9分に皆既食が始まり、20時28分に皆既食が終わります。この日、月の近くには赤っぽく輝く**からす座**の1等星**アンタレス**があり、赤銅色に輝く月の赤さと比べてみるのも面白いでしょう。

次に皆既月食が見られるのは1年以上も先となります。ぜひこの機会を逃さず、赤銅色に輝く月と赤っぽく輝く星の共演を楽しんではいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
4	火	☾ 下弦 (04:50)	20	木	☽ 上弦 (04:13)
5	水	立夏 (15:47) 【暦の上では夏を迎える】	26	水	☾ 満月 (20:14) 皆既月食 【皆既食始 20:09 皆既食終 20:28】
12	水	● 新月 (04:00)			
17	月	水星が東方最大離角	29	土	水星と金星が最接近